

輝け！シン尾花沢中

第40号

令和8年

5月28日

長根の山の ふもとはら 遠いゆかりの おもだかの

「正しく読む」「正しく書く」スキルアップ!～全国学力調査分析から①～

本校では、4月に3年生を対象として行われる全国学力調査問題【国語・数学】を本校教員が採点することで尾中生の実態を早期に把握し、よいところを伸ばし、課題を改善する取組を行っています。先日、分析結果を踏まえた研修会が行われました。

3回にわたって、尾中生の課題とその対策について紹介してまいります。

国語や数学の分析からわかる尾中生の課題は次の通りです。

- ・問題文を正確に読み取ることに課題がある
- ・主語・述語を正しく使って書くことに課題がある

要するに「正しく読む」「正しく書く」ことに課題があるといえそうです。

例えば、今年度の国語[2]四の問題では「条件1：自分の考えと理由を書くこと」「条件2：大森さんと石川さんの意見の両方を取り上げながら書くこと」と2つの条件が求められていますが「私は紙に印刷して教室に貼るのがよいと思います。なぜかという～」のように、条件2が書かれていない誤答が数多く見受けられました。



職員室で分析結果を報告する荘司先生

数学[9](3)においても、「条件1：形」と「条件2：位置」について説明する条件が課せられているにも関わらず、形について記載されていない誤答が多かったです。また、「A就寝時刻が23時以降の度数分布多角形の方は、B就寝時刻が23時より前の度数分布多角形よりも左側にある」という正答に対して、「BはAよりも左側にある」や「AはBよりも右側にある」のように、主語と述語を意識せずに記載してしまったような誤答が数多く見受けられました。

これらの課題に対する対策として、現在行っているRS（リーディング・スキル）タイムの充実が提案されました。これまでも説明してきましたが、RSとは、数学者である新井紀子氏が開発した読解力を診断するもので、次の6つの項目に分類されます。

係り受け解析

➢主語・述語をつなげる力

照応解決

➢「それ」が指すものを理解する力

同義分判定

➢2文が同じ意味かどうか理解する力

推論

➢常識を使って判断する力

イメージ同定

➢図の意味を説明する力
➢文章と関連付ける力

具体例同定

➢言葉や算数数学用語の定義を理解する力

現在、本校で行っているRSタイムでは、理科、社会、数学における定義文を教科書から見つけ、1分間で視写する活動を行っています。特に「係り受け解析」「具体例同定」を意識し、正しく読み取り正しく理解することをねらっています。

「正しく読む」「正しく書く」尾中生の育成を目指します。

【文責：校長 工藤雅史】